

資料1 平成30年度第2回議会報告会 会場での質疑、意見や要望事項 (H30.11/15)

◎当局に対するもの

	質疑、意見や要望等	担当部	当局回答
	<b>【大熊町集会場】</b>		
1	<p>復帰関連の資料に関しては、群島全体のことなので、広域事務組合が保管していると思うが、古い建物なので、できれば奄美市博物館へ移して保管していただきたい。</p>	教育委員会	<p>奄美群島の日本復帰関係資料については、奄美群島12市町村のみならず、県や国にとってもその歴史的価値はきわめて高いものと考えます。奄美市立奄美博物館で受け入れを図ることについては積極的に対応させていただきたいと考えています。所有者である広域事務組合の意向等をうかがわせていただきながら、資料に関する情報の共有化等に努めていきたいと考えています。(映像資料については、数本は複製させていただいている)</p> <p>資料の保存に関しては、移管あるいは寄託などを含めて今後協議をしていきたいと考えています。</p> <p>※奄美群島広域事務組合所蔵資料：ビデオテープ数本、写真パネル数点、画像データ</p>
2	<p>小中学校に勤務しているが、先日オスプレイが低空飛行する場面に遭った。子ども達も非常に怖がっていた。このようなことが3回あった。安心したいがために、訓練等があるのであれば事前に訓練の内容を知らせて欲しいと思うが、どうか。</p>	総務部	<p>航空機の飛行につきましては、航空法や同法施行規則に基づき国土交通省の許可を得ていることから、通常、事前連絡はないところです。そのような中、米軍機にかかる飛行ルート等の詳細につきましては、安全保障上の問題であることから公表されておらず、本市においても事前の情報については把握できない状況でございますが今後も国・県・関係機関と連携を図り、得られた情報については提供してまいりたいと考えておりますので御理解をお願いいたします。</p>

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
	<b>【住用総合支所】</b>		
3	区画整理をしたので城（ぐすく）のうしろに道路を通すのは難しいが、事故が多いので道路を作って欲しい。このことを訴えてから10年位になるので早く作って欲しい。	建設部	県が平成4年から13年にかけて国道58号和瀬バイパス工事に着手していますが当地区は字図混乱地域であり、用地取得が困難という事で工事が中断しております。奄美市としても地籍調査事業や協議会を通じての解決や、中山間事業で解消するという方法について検討がありましたが、解消には至っておりません。また、法務局からは集団和解方式という手法があるとの見解が示されたが、相続人全体から100%の同意を得られることは不可能に近いということで、現在も字図混乱が続いている状況です。また、国で所有者不明の特別措置法ができたことから、国や県の動向を見据えていく必要があると存じますので、ご理解頂きますようお願いいたします。
4	西仲間は大島支庁から緊急地滑り指定区域と説明があり、平成22年の豪雨災害で集落民が体験交流館に避難した。年々台風が増加している。行政に工事のを要望するにも地権者の名前がわからないと要望できない。早く集落周辺の地籍調査をして欲しい。	農政部	現在、住用地区では、環境省より依頼された世界自然遺産登録候補地とされている地区の地籍調査を先行して実施しており、平成31年度までに終了予定であります。ご要望の地籍調査につきましては、平成32年度から急傾斜地を含めた集落周辺の地籍調査を検討して参りたいと考えております。
5	川内と津名久トンネル着工をなんとか実現して欲しい。南部議員大会でも可決されたのに未だ実現されていない。当時の県議会議員にもお願いしていたが、議案が廃案になった。集落からも要望を提出しようと考えている。	建設部	平成6年に大和村と旧住用村で「大島本島大和村・住用村間県道新設促進協議会」が発足し、平成8年に県議会定例会に陳情を行っていますが、継続審査（審査未了）となった経緯がございます。まず市として、地域にとって重要かつ生活に密着した道路整備を優先的に実施しており、大和村・住用町間のトンネル開設については、今後検証していく必要があると存じますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

	質疑, 意見や要望等	担当部	当局回答
	<b>【笠利総合支所】</b>		
6	あやまる岬の上には、案内板もあり展望台デッキができたが、下にも展望台があり景観がとてもいいが、残念なことに案内の看板がないので設置して欲しい。	商工観光部	指摘を受け、バースハウス側に1か所、歩道入口1か所に看板を設置いたしました。
7	用安海岸の浸食の問題が以前からあったが、因果関係はでていない。近年の台風などで砂が移動している。今までの県からは、「因果関係がはっきりしません」との回答しかなかった。原因を明確にして欲しい。	建設部	海岸の砂の減少は各地域で確認されております。砂減少の原因でございますが、河川からの土砂供給の減少や潮位の上昇、サンゴの減少を起因とするものや、高波による砂の流出など様々な要因が考えられますが、各海岸の地形的条件の違いもありその原因を特定するに至っておりませんが、状況を注視してまいりたいと考えております。
8	屋仁集落は県道をバイパス化しており、バスは集落内を通るが市道の修理はなされているのか。側溝のふたに段差があり、子どもは転んだり、高齢者にも危ない為、検証がされているのかを伺う。他の集落もあると思うが、集落内道路の維持管理がされているのか。	建設部	市道のパトロール時に確認した箇所は随時対応を行っている状況ですが、地域において補修を要する危険な個所を発見した際は、ご一報くだされば随時対応いたしますのでご連絡いただければと思います。